

「びわほなみ」の収量確保のために 適期・適量播種を行いましょう！

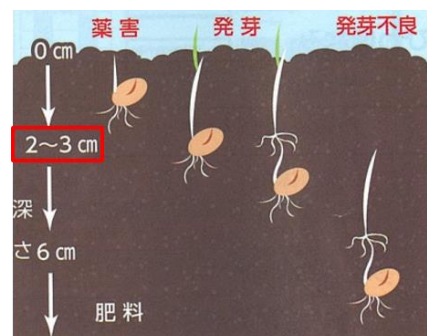
1 “適期” に播種しましょう！

「びわほなみ」の品種特性を発揮させるためには、適期に播種することが重要です。早く播種すると、生育旺盛となり黒節病などの病害や、出穂が早まり春先の凍霜害による収量や品質の低下につながります。下記のとおり適期に播種ができるようほ場準備を行いましょう。

○播種適期：平 坦（307号線より西側）：11/10～11/20
中山間（307号線より東側）：11/ 5 ～11/15

2 “適量” 播種しましょう！

麦の収量確保には苗立ち数の確保が重要です。そのため、適量を適度な播種深度で播種することがポイントとなります。下記のとおり適正な播種深度、播種量となるよう播種機の調整をしっかりと行い、播種作業の実施をお願いします。



○播種量：8～10kg／10a

- ・10日遅れるごとに1kg／10a播種量を増やしてください。
- ・条間20～25cmにすることで雑草対策になります。

○適正な播種深度：2～3 cm

3 再度、排水対策ができているか確認しましょう！

麦の出芽向上や、土壌処理剤、肥料の効果を高めるためには、排水対策が重要です。播種後も溝を点検し、崩れた箇所は溝さらえを行い、排水口までしっかりとつながるようにしましょう。



つなが目はしっかりつなぐ！